

女性技術士によるプロボノ・パブリコ活動

Probono publico of team "ENCHANT" : Woman Engineers for Non-profit Charity of Hitachi Across NaTions

1 はじめに

私は、日立技術士会の「チーム・技魔女」に所属して活動している。「チーム・技魔女」は、日立技術士会に所属する女性技術士が2013年1月に結成した活動グループである。当初6名であった「技魔女」も14名に増えた(2016年6月時点)。「チーム・技魔女」は、組織的な「ヒエラルキー」や組織を維持するための「ノルマ」を持たず、登録順に3桁の番号を割り当てる。「技魔女」の専門分野は、建設、情報工学、経営工学、生物工学、環境、応用理学、金属、原子力・放射線と多岐にわたる(表1)。技術士以外の資格所有者が多いのも特徴で、「チーム・技魔女」宣言を掲げ、それぞれが自身の得意「技」を活かしてやってみたいことを自由に自発的に楽しみながら、

「プロボノ・パブリコ (Probono publico)」を目指した活動に取り組んでいる。また、活動時には「チーム・技魔女」のオリジナルTシャツを着用する(写真1)。

「チーム・技魔女」宣言

- ・自分が楽しいと感じることを最優先する
- ・誰かの役に立てば嬉しい
- ・広く社会貢献できればなお素晴らしい
- ・世間で話題になったら自慢したい



写真1 「チーム・技魔女」のオリジナルTシャツ

2 活動目的

「プロボノ・パブリコ」とは、「公共善のために

表1 チーム・技魔女

001号 千木良 美由紀 (ちぎら みゆき) 技術士 (建設/総合技術監理部門) (株)日立建設設計 営業本部 一級建築士 他		007号 木村 孝枝 (きむら たかえ) 修習技術者 日立オートモティブシステムズ(株) 一級技能士 (熱処理・材料試験組織)	
002号 吉田 明子 (よしだ あきこ) 技術士 (環境部門) 日立化成テクノサービス(株) 環境計量士, 作業環境測定士 他		008号 飯泉 紀子 (いいずみ のりこ) 技術士 (情報工学部門) (株)日立ハイテクノロジーズ MBA, キャリアコンサルタント	
003号 西村 丹子 (にしむら あきこ) 技術士 (原子力・放射線部門) 日立GEニュークリア・エナジー (株) 第一種放射線取扱主任者		009号 中村 友美 (なかむら ともみ) 技術士 (原子力・放射線部門) 日立GEニュークリア・エナジー (株)	
004号 久田 明子 (ひさだ あきこ) 技術士 (生物工学部門) (株)日立製作所		010号 石野 智子 (いしの ともこ) 技術士 (経営工学部門) (株)日立製作所 第二種情報処理技術者	
005号 中田 よしみ (なかた よしみ) 技術士 (原子力・放射線部門) (株)日立プラントコンストラクション 第一種放射線取扱主任者 他		011号 石田 厚子 (いしだ あつこ) 技術士 (情報工学部門) 東京電機大学 情報環境学部 博士 (工学)	
006号 戒田 元子 (かいだ もとこ) 技術士 (経営工学部門) (株)日立製作所		012号 大西 紗矢佳 (おおにし さやか) 修習技術者 (株)日立製作所	

専門知識・技術を活かした実践的社会貢献」の意味である。業務から離れたところで、従来の企業の常識とは異なる方法で、やりたいことを思い切りやってみることで、新しい何かを学ぶことができると考えている。

- 「チーム・技魔女」の活動目的
- ① 女性技術士の相互研鑽と交流機会を創出
 - ② 若手女性技術者のキャリアデザイン支援
 - ③ 日立技術士会の組織力、技術士としての専門技術、働く女性の特性を総合的に活用したプロボノ・パブリコ（社会貢献）の実践

3 活動紹介

(1) 交流・相互研鑽

世代・分野を超えた交流・相互研鑽の場を創出することを目的として、2015年3月に、御茶ノ水にあるギャラリーを貸し切って「OPEN HOUSE」を開催した。国際経験豊富な講師をお招きして、リーダーシップやキャプテンシーのあり方、プレゼンテーションの極意などを盛りだくさんにお話いただいた（写真2）。また、女性技術者同士の国際交流も実施した（写真3）。



写真2 「OPEN HOUSE」で土曜午後のひとときを過ごす



写真3 国際交流「大人の遠足 那珂湊・大洗ツアー」

(2) 働く女性のキャリアデザイン支援

日本技術士会男女共同参画推進委員会の後援を得て、2013年12月に若手女性技術者向けのセミナー&トークイベントを開催した。セミナーイベント「志を高く、キャリアを磨く」の講師・石田厚子氏（技魔女011号）からは「自分の思いと現実にギャップが生じたときは、自分は誰のために何のために働くのかを問い直す」というメッセージが伝えられた（写真4）。トークイベント「キャリアの縁日」は「屋台」に見立てた各テ-

ブルを巡ると様々なキャリアを疑似体験できる仕組みで、海外エンジニア、ライター、カラーコーディネーター、医師など多彩な専門職の方々に「屋台」の語り部としてお招きした（写真5）。



写真4 セミナー「志を高く、キャリアを磨く」の様子



写真5 トーク「キャリアの縁日」の様子

(3) 次世代育成

女子中高生を対象とした「夏の学校」では、理工系への進学や技術士に関心を持ってもらうために、進路選択から現在に至るまでの自分たちの歩みを年表で紹介したり、また、小中学生を対象としたイベントでは、理科工作を通じて理科の面白さを知ってもらうなどの取り組みも行っている（写真6）。



写真6 理科工作教室の様子

4 おわりに

私は、チームの一員として、技術士の相互研鑽と交流を通じて自己研鑽に励み、専門性にも磨きをかけながら技術士としての活動の幅を広げていきたいと思う。

西村 丹子 (にしむら あきこ)

技術士（原子力・放射線部門）

チーム・技魔女003号

日立GEニュークリア・エナジー（株）

第一種放射線取扱主任者

e-mail : akiko.nishimura.ca@hitachi.com